

令和6年12月高浜市議会定例会会議録（第6号）

日 時 令和6年12月24日午前10時

場 所 高浜市議場

議事日程

日程第1 議案第83号 令和6年度高浜市一般会計補正予算（第14回）

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

出席議員

1番	橋 本 友 樹	2番	荒 川 義 孝
3番	神 谷 直 子	4番	杉 浦 康 憲
5番	野々山 啓	6番	今 原 ゆかり
8番	岡 田 公 作	9番	長谷川 広 昌
10番	北 川 広 人	11番	鈴 木 勝 彦
12番	柴 口 征 寛	13番	倉 田 利 奈
14番	黒 川 美 克		

欠席議員

7番 福 岡 里 香

説明のため出席した者

市 長	吉 岡 初 浩
副 市 長	深 谷 直 弘
企 画 部 長	木 村 忠 好
総合政策グループリーダー	榑 原 雅 彦
秘書人事グループリーダー	野 口 恒 夫
総 務 部 長	杉 浦 崇 臣
財務グループリーダー	本 多 征 樹
市 民 部 長	岡 島 正 明
福 祉 部 長	磯 村 和 志
地域福祉グループリーダー	東 條 光 穂
地域福祉グループ主幹	角 谷 権
こども未来部長	磯 村 順 司

都 市 政 策 部 長 杉 浦 睦 彦
職務のため出席した議会事務局職員

議 会 事 務 局 長 竹 内 正 夫
主 査 森 本 将 史
主 事 大 岡 靖 治

議事の経過

○議長（杉浦康憲） 皆さん、おはようございます。

本日も円滑なる議事の進行に御協力のほど、よろしくお願いいたします。

午前10時00分開議

○議長（杉浦康憲） ただいまの出席議員は13名であります。よって、これより会議を開きます。
初めに、12月18日に議会運営委員会が開催されておりますので、その結果の報告を求めます。
議会運営委員長、北川広人議員。

〔議会運営委員長 北川広人 登壇〕

○議会運営委員長（北川広人） おはようございます。

御指名をいただきましたので、議会運営委員会の御報告を申し上げます。

去る12月18日に、委員全員出席の下、議会運営委員会を開催いたしました。

市長より、議案第83号 高浜市一般会計補正予算（第14回）が追加提出され、説明を受けた後、その取扱いについて検討いたしました結果、本日は議案第83号の議案の上程、説明、質疑を行い、委員会付託を省略し、討論、採決の順序で行うことに決定いたしました。

皆様方の御協力を申し上げ、御報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

〔議会運営委員長 北川広人 降壇〕

○議長（杉浦康憲） 議会運営委員長の報告は以上のとおりです。

本日の議事日程は、配付してあります日程表のとおりです。

これより本日の日程に入ります。

○議長（杉浦康憲） 日程第1 議案第83号 令和6年度高浜市一般会計補正予算（第14回）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（杉浦崇臣） それでは、議案第83号 令和6年度高浜市一般会計補正予算（第14回）につきまして提案理由の御説明を申し上げます。

補正予算書の7ページをお願いいたします。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億2,588万円を追加し、補正後の予算総額を196億877万3,000円といたすものでございます。

20ページ、21ページをお願いいたします。

歳入について申し上げます。

14款2項1目総務費国庫補助金は、低所得世帯への支援策として実施する価格高騰重点支援給付金（非課税世帯・こども加算）支給事業等に対し、全額交付されるものでございます。

22ページ、23ページをお願いいたします。

歳出について申し上げます。

3款1項1目社会福祉総務費は、価格高騰重点支援給付金（非課税世帯・こども加算）支給事業を実施するに当たり、任用する会計年度任用職員1名の人件費等を計上いたすものでございます。

27目価格高騰重点支援給付金（非課税世帯・こども加算）支給事業費は、賃上げや年金物価スライド等で賄い切れない食料品やエネルギー関係等の消費支出に対する物価高の影響を補うため、低所得世帯に対し、一世帯当たり3万円を支給いたすほか、低所得世帯のうち18歳以下の児童を扶養している世帯に対し、児童1人当たり2万円を支給いたすものでございます。

主な内容は、委託料としてシステム開発業務委託料1,045万9,000円、交付金として価格高騰重点支援給付金9,900万円、同給付金のこども加算分として1,300万円を計上いたしております。

説明は以上のとおりでございます。よろしくお願い申し上げます。

○議長（杉浦康憲） これより質疑に入ります。

なお、質疑に当たりましては、ページ数及び款項目節をお示しいただきますようお願いいたします。

12番、柴口議員。

○12番（柴口征寛） 補正予算説明書の23ページの3款1項27目です。システム開発業務委託料1,045万9,000円とあるんですが、工数で10人月程度になるかと思うんですが、ちょっと規模が大きいかと思うんですが、そのあたりをちょっと詳しく御説明いただければと思います。

○議長（杉浦康憲） 地域福祉グループ。

○地域福祉G主幹（角谷 権） この金額につきましては、これまでの給付金のシステムにおける委託料を基におおむねで見込んでいるものでございまして、おおむねこれまでと同様の金額となっております。

以上です。

○議長（杉浦康憲） ほかに。

13番、倉田議員。

○13番（倉田利奈） 幾つかございますので、答弁漏れのないようにお願いしたいと思います。

まず、今回のこの事業を始めるに当たって、これ今回、最終日が議会が延びたということで、最終日が本来であれば18日に終わっていたところを今日延期されたということなんですが、この間の最終日の追加議案につきましては、これの補正予算が、予算の裏づけがないのに当初予算から載っていたということなんですが、今回ほかの自治体、最終日に間に合わせているところもあるんですけども、なぜ今回この議案がこのタイミングで上がってきたのか、ちょっと今までのやり方、今回の特に議会のやり方見ていると一貫性がないのかなと思いますので、そのあたりの御説明をまずお願いしたいと思います。

それから、補正予算書の22、23ページの3款1項27目の件なんですが、こちらが価格高騰重点支援給付金支給事業ということで、1,252万5,300円が上がっているんですけども、いわゆるこの左側の区分のところに、時間外勤務手当というのは書かれているんですけども、これ支援事業に係る時間外勤務手当になるかと思うので、ここ説明のところに、何かあえて載せていないのか、ちょっと何かルールがあるのか、そのあたりについても併せて教えていただきたいと思います。

それから、先ほど柴口議員が申し上げておりました、私もシステム開発業務委託料についてお聞きしたいと思うんですけども、これ多分随意契約で、今まで契約していた日立さんにシステム開発委託料を出すのかなと思うんですけども、これさっき柴口議員もおっしゃっていたように、これ6月に価格高騰重点支援給付金ということで、同じような給付金のほうが出てるんですよ。これにつきましては、例えば碧南市さんと同じようなシステムの変更になるから、特にこれについては予算計上されていないようですし、刈谷市さんだと例えば6月で同じようなこの給付金のシステムの開発が約400万円、高浜が6月のときは約500万円なのに、なぜ先ほどの説明だと何で今回1,000万円になっちゃうのかというのが、全くもって分からないので、しっかりそこを御説明いただきたいと思います。

それから……

○議長（杉浦康憲） 倉田議員、まだたくさんありますか。

○13番（倉田利奈） あります。

○議長（杉浦康憲） じゃ、ここで1回切ります。

地域福祉グループ。

○地域福祉G主幹（角谷 権） システムの内訳につきましては、住民税非課税世帯に対するものと課税世帯のうち18歳以下の児童を扶養している場合に支払われる部分とそれぞれ500万程度を見込んでいるというものでございます。

また、時間外についての記載の仕方については、これまでと同様だと思っております。

以上でございます。

○議長（杉浦康憲） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（東條光穂） 18日の最終日に間に合わなかった理由でございますが、国のほうの補正予算の可決がまだ済んでおりませんでしたので、それを待ってから今回の今日のタイミングとなっております。

○議長（杉浦康憲） じゃ、続きをお願いします。

○13番（倉田利奈） この主要・新規事業書、こちらを見ますと、いわゆる契約事務、指定対象者抽出してとか、あとこの積算内容見ますと、前回の6月議会の価格高騰重点支援給付金と同じようなやり方をされるのかなと思うんですね。事務の手續とか、給付の仕方について。

これは本当にこのやり方でいいのかというところで、6月のときのこの受給率というのをまず教えていただきたいのと、あと例えば今回、時間外をつけるとか、会計年度さんを雇用するとかになっているので、ほかの自治体でいくと、これの事業を丸ごと委託を出す。費用対効果をもちろん出してなんですけれども、そういうほうが安くなるということで、そういうことをされている自治体があるということも知ったんですけれども、そのようなことについて協議をされたのかどうかについても教えていただきたいと思います。

これ特に、ちょっと時間外勤務ありきになってしまいまして、職員の働き方改革とかにも関わってくると思いますので、特にこれ80万円という金額を何人の方が対象になっていて、1月、2月、3月、それぞれ1人当たり何時間をこれ時間外勤務として積算されているのか、ちょっとここは詳しく教えていただきたいと思います。

それから、これ多分、随意契約をされると思うんですけれども、日立さんに随意契約をされる場合は、これ価格調整を多分これされると思うんですね。これ今出ている金額というのは、多分委託業者のいわゆる積算を載せているかと思うんですけれども、その確認と、いつこれ調整されるのかについて教えていただきたいと思います。

それから……

○議長（杉浦康憲） まだありますか。

○13番（倉田利奈） あります。

○議長（杉浦康憲） じゃ、ここでまた。

地域福祉グループ。

○地域福祉G主幹（角谷 権） まず、受給率についてですが、6月の部分について詳しく資料を持ち合わせておりませんが、これまでの給付金に係る受給率については、通知をした世帯に対する支給した世帯の割合として、おおむね98%前後となっております。

それから、システムの関係ですが、実はおっしゃるとおり日立さんとこれまで契約をしているところなんですけれども、今回につきましては、日立さんが対応できるかどうかまだ分からない状況で、見積りはいただけていないものでございます。もしやれるとすれば、これまでと同じぐ

らの費用がかかるものとして見込んだものでございます。

すみません、以上でございます。

○議長（杉浦康憲） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（東條光穂） 時間外勤務手当に関しましてですけれども、地域福祉グループのメンバーと、あと先ほど主幹のほうから申し上げたとおり、委託業務がどこまで日立さんがやっていただけるかというのが、今調整中でございます。もし、日立さんが全然やっていただけないというふうであれば、職員でやらなければいけないということになりますので、ICT推進グループの時間外も見込んでおります。

また、委託事業を丸ごと委託するかどうかということですが、この給付金が始まった当初、高浜市では丸ごと委託をしておりましたが、その委託をしますと、給付金申請の波がありますので、仕事がない期間もずっと委託なので、契約変更できずにその方たちにいていただかなければいけないので、費用対効果というふうであれば、不要な委託金を払うよりも、職員の時間外で対応したほうが良いという結論に至りまして、最近では時間外で対応しております。

以上でございます。

○議長（杉浦康憲） 倉田議員、1回目の続きをお願いします。

○13番（倉田利奈） まだ答弁漏れあります。

○議長（杉浦康憲） 何がありましたか。

○13番（倉田利奈） これ業者と調整いつされるのか聞いたんですけれども、されないんですか。

○議長（杉浦康憲） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（東條光穂） 日立さんとの調整ですが、既に行っております。ただ、その確実にやれるですとかの回答がまだいただけておりませんので、今後もしできる限りの調整は早めに行ってまいります。

○議長（杉浦康憲） 13番、倉田議員。

1回目の続きをお願いします。

○13番（倉田利奈） これコールセンターの設置とかは、これ予算とか上がっていないんですけれども、されないのかということと、あとこれ前回のときは、例えば7月に契約して、8月に対象者抽出して、それから9月から11月に確認書を送付して、受付して、支給したということで、いわゆる市民の方が、この対象世帯については、9月から11月の間にその郵送されてきたものを受け取って、それから9、10、11月、3か月もありませんけれども、その間に支給はされていたということなんです。ところが、今回は2月から3月、たった2か月しかこの期間がないので、これすごい非常に心配しております。これ絶対年度内しか支給ができないものなんでしょうか。やはりちょっと2か月で、特に年度末ということで、進級、進学とか、いろんなことが各家庭ございますし、やはり高浜市、郵送と言われても3日かかるんですよ。郵便ポストに入れてから、

高浜市内でも。そういうことを考えると、これ非常に期間が短いので、これ大丈夫なのかなというのを心配しておりますが、そのあたりについてはいかがでしょうか。

○議長（杉浦康憲） 地域福祉グループ。

○地域福祉G主幹（角谷 権） まず、コールセンターの設置についてですが、最近の給付金の事務につきましては、電話のみを設置しておりますコールセンターは設置せず、職員で対応しておりましたので、今回も同様とする予定です。

また、スケジュールについては、おおむねですが、これまでと同様のスケジュールでございまして、一応この閣議決定によると、まだ期限が分からない状態でございますので、年度内に終える見込みで予定を立てたものでございます。

以上です。

○議長（杉浦康憲） 倉田議員、2回目でしょうか。

○13番（倉田利奈） はい。

まず、なぜこのタイミングかということの答弁に対してなんですけれども、国の多分これ補正予算の可決を待ってからと言われたんですけれども、一方では待たずして補正予算を高浜市で組んで、その予算に対する裏づけのない条例がないにもかかわらず、先に可決をしちゃってるんですよね。それなのに今回は、予算の可決を待ってからということで、ここでされたというところ、そこがちょっと私には矛盾に感じているのと、それから、先ほどから言われているその1,000万円以上のこれ、システムの開発事業委託料ですよね。

〔不規則発言あり〕

市長、いいですか、何かおっしゃりたいことがあるみたいなんですけれども、いいですか。

今の説明だと、住民税非課税部分が500万円で、18歳以下の児童を扶養している世帯については500万円ということで500万円、500万円のいわゆる委託料というのが、ちょっと私は考えられなくて、やはり同じように今までやっているのに、またその500万円、500万円かかるということが、ちょっと私にはなかなか理解できないのと、碧南市さんみたいに、同じようなことやっているから特に今回は要らないですよということと、あと見積りももらっていないということになると、何かこの根拠について、何かあまり私には明確なものが見えてこないんですけれども、そのあたりをちょっと説明をしっかりとさせていただきたいなと思います。

それから、これを全部委託にした場合、今までそういうふうに、特に業務がない間も委託業者さんがいたということなんですけれども、今回はいわゆる1月、2月、3月で、たった3か月で全てのことをするということになる、逆に委託業者、これ国で決まる前に、もうやるぞということの情報が入って、すぐにそういった委託業者を探して安くできるようにということで、各自自治体動いてみえるというところも聞いておりますので、そういったところを今回は全くそういう協議、そういうことについても検討されなかったということでよろしかったのかということと、

あと時間外の件なんですけれども、地域福祉グループとICTグループということなんですけれども、やはりこの業務を行うことによって、1人当たりの時間外があまりにも多くなってしまうということを私は懸念しておりますので、これ実際問題、一番多い方の1か月当たりの時間外というのは、何時間でこれ積算されているのか、ここしっかり教えていただきたいと思います。

特にこれ、ICTグループがもしこれ、システムの変更されるとなったら、すごい業務が、めちゃくちゃ今聞くと、増えちゃうんじゃないかなと思うんですけれども、そのあたりどのように考えているのか教えてください。

それから、今回の先ほど言ったように、たった3か月で契約事務から給付期間がないんですよ。それにつきまして、国のほうはこの3月中にやらないといけないというようなことの通知がないということでしょうか、先ほどの答弁だと。ちょっとそのあたりがよく分かりませんでした。これそうなれば、何か繰越明許なり何なりに今後なり得る可能性があるということなんですか、教えてください。

○議長（杉浦康憲） 企画部長。

○企画部長（木村忠好） 一番初めに御質問いただいたのは、給与条例等のお話だと思いますが、このことにつきましては、もう既に御審議をいただいて、御可決いただいておりますので、そのとおりでございます。

今回の補正につきましては、先ほど地域福祉グループの担当が述べたとおりでございます。

○議長（杉浦康憲） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（東條光穂） システム開発費用が500万円掛ける2本で1,000万円が高いよというお話なんですけれども、以前のときもこども加算があつて、非課税世帯があるとき、事業が分かれてましたけれども500万円、500万円で計上しておりました。そのとき私たちも高いよということで、いろいろ協議を重ねましたけれども、もともとのシステムの値段が高いと言われて、あまり安くならなかったもので、今回も同じようなことになるのではないかとということで500万円で計上しております。

事業委託につきましては、以前にたかが3か月、短いと言われましたけれども、3か月の中でも本当に事務が集中するのは20日間とかぐらいしかないので、それ以外の期間はずっと事務はあるんですけれども、7時間分の作業が発生しない期間も結構ありますので、ここは委託に出すよりも職員で頑張ったほうがコスト的にはかなり安くなるかと思っております。

一番時間外の勤務、1か月の時間外多い人は、大体約30時間ぐらい、2時間掛ける15日ぐらいで見込んでおります。

以上です。

○議長（杉浦康憲） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 予算の繰越しの部分、御質問あったと思いますが、今回、国からの

取扱い通知の中では、今般の経済対策において、対策の早期執行が掲げられた趣旨を十分御理解いただき、可能な限り早期の予算化に向けた検討を引き続き進めてほしいというような内容があります。

言われるように、期間3か月というところがあります。これまでの交付金の事務の流れをみておきますと、なかなかやっぱり期間内でできないというような、ほかの自治体からの結構質疑応答も国のほうに出される中で、最終的な判断として結構繰越しを認めるというような判断はされることが多かったですけれども、まだちょっと今回はそこまでは示されていないというところになっておりますので、よろしくお願いします。

○議長（杉浦康憲） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（杉浦康憲） 質疑もないようですので、これにて質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

本案については、会議規則第36条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦康憲） 異議なしと認めます。よって、議案第83号は委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論に入ります。

反対討論を求めます。

〔発言する者なし〕

○議長（杉浦康憲） 賛成討論を求めます。

〔発言する者なし〕

○議長（杉浦康憲） 討論もないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第83号 令和6年度高浜市一般会計補正予算（第14回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（杉浦康憲） 起立全員であります。よって、議案第83号は原案のとおり可決されました。

○議長（杉浦康憲） 以上をもって、本定例会に付議されました案件全部を議了いたしました。

市長挨拶。

市長。

〔市長 吉岡初浩 登壇〕

○市長（吉岡初浩） 大変お疲れさまでございました。

令和6年12月高浜市議会定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

去る11月28日から本日24日までの27日間にわたり開催をされました12月定例会におきまして、私どものほうから提案をさせていただきました承認1件、議案16件につきましては、全案件とも原案どおり御承認あるいは御可決を賜りありがとうございました。

審議の過程でいただきました建設的な御意見、御提案に関しましては、今後の予算執行及び現在進めております令和7年度の当初予算編成の参考とさせていただきます。

さて、年末の恒例であります1年の世相を表す今年の漢字が発表されましたが、今回は「金」が選ばれました。パラリンピック・オリンピックの金メダルや佐渡金山の世界遺産登録といった話題の一方で、政治資金問題、物価高騰による家計圧迫といったお金の話などと、よくもあしくも「金」と「金（かね）」がついて回る年であったことが背景にございます。

物価高騰に関しましては、今回、御可決をいただいた補正予算に係る低所得者世帯を対象とする1世帯当たり3万円、子供1人当たり2万円を加算して支給する価格高騰重点支援給付金について速やかに事務を進めてまいります。

今年の漢字は「金」でしたが、市では現在「銀」に関する取組を行っています。かわら美術館・図書館の正面玄関に置かれているいぶし銀の瓦製の巨大シャチに関しまして、現在、修復・再生プロジェクトとして、ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングの実施中でございます。平成7年から約30年にわたり市民の皆様を見守り、高浜市を訪れる皆様を迎えてきた巨大シャチですが、歳月を経て各所の色があせ、ひび割れや欠けが生じている状況にあります。

来年、かわら美術館・図書館は、前身であるかわら美術館のオープンから30周年、そして高浜市は市制施行から55周年と節目の年を迎えます。27人もの鬼師が約7か月かけて制作した巨大シャチは、高浜市の歴史と伝統、瓦産業の象徴の一つとも言えるものでございます。今回の取組が幅広い人に高浜市を知っていただく契機となるとともに、巨大シャチがいぶし銀の輝きを取り戻し、新たな時代においても人々を見守り、迎え続け、長く愛される存在となることを期待する次第でございます。

今年も残すところあとわずかとなりました。間近に迎えます新しい年が、本市にとりましても、また皆様にとりましても輝かしい飛躍の年になりますよう御祈念申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

〔市長 吉岡初浩 降壇〕

○議長（杉浦康憲） これをもって令和6年12月高浜市議会定例会を閉会いたします。

本定例会は、少し延びましたが、本日まで27日間、皆様の熱心な御審議をいただきありがとうございました。本日はクリスマスイブということで、夜は皆さん御予定もあると思いますが、イ

ンフル等も流行っておりますので、あと1週間、御健康には御留意いただきまして新年を迎えていただければと思います。

今年1年間の感謝と来年ますます高浜市が発展することを祈念いたしまして、閉会の言葉いたします。ありがとうございました。

午前10時30分閉会
